

7. トラブルシューティング

本製品の運用中に何らかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

ランプによるエラー表示

EMカードに何らかの異常が発生すると、EMカードのSTATUSランプとSIGMABLADEモニターのSTATUSランプに反映されます。詳細は「1.EMカード各部の名称と機能」、「5.SIGMABLADEモニターの使い方」をご覧ください。

SIGMABLADEモニターに表示されるエラーメッセージ

EMカードまたはブレード収納ユニットに何らかの異常が発生すると、SIGMABLADEモニターにエラーメッセージが表示されます。

ブレード収納ユニットの電源がONになった際の診断中のエラーメッセージは「SIGMABLADEモニター診断」をご覧ください。それ以外のエラーメッセージは以下の通りです。

エラーメッセージ	意味	対処方法
FANn EFuse Alm	FANユニットn (n=1-5) EFuse異常	該当するFANユニット交換
EMn Fail Alm	EMカードn(n=1-2)故障	該当するEMカード交換
EMn +3.3Vs Alm xx	EMカードn(n=1-2)+3.3Vs電圧異常	該当するEMカード交換
EMn +VBAT Alm xx	EMカードn(n=1-2)+VBAT 電圧異常	該当するEMカード交換
EMn +5.0Vs Alm xx	EMカードn(n=1-2)+5.0Vs電圧異常	該当するEMカード交換
EMn +2.5Vs Alm xx	EMカードn(n=1-2)+2.5Vs電圧異常	該当するEMカード交換
EMn +1.2Vs Alm xx	EMカードn(n=1-2)+1.2Vs電圧異常	該当するEMカード交換
IP +12V Alm xx	インターポーザ+12V電圧異常	保守サービス会社に連絡
IP +5.0V Alm xx	インターポーザ+5.0V電圧異常	保守サービス会社に連絡
IP +3.3V Alm xx	インターポーザ+3.3V電圧異常	保守サービス会社に連絡
IP +5.0Vs Alm xx	インターポーザ+5.0Vs電圧異常	保守サービス会社に連絡
IP +3.3Vs Alm xx	インターポーザ+3.3Vs電圧異常	保守サービス会社に連絡
CB +12V Alm xx	コネクタボード+12V電圧異常	保守サービス会社に連絡
CB +5.0V Alm xx	コネクタボード+5.0V電圧異常	保守サービス会社に連絡
CB +3.3V Alm xx	コネクタボード+3.3V電圧異常	保守サービス会社に連絡

エラーメッセージ	意味	対処方法
FANn +12V Alm xx	FANユニットn (n=1-5) 電圧異常	該当するFANユニット交換
EMn Temp Alm xx	EMカードn(n=1-2) 温度異常	該当するEMカード交換
CB Temp Alm xx	コネクタボード温度異常	保守サービス会社に連絡
MP-R Temp Alm xx	ミッドプレーン温度異常	保守サービス会社に連絡
MP-L Temp Alm xx	ミッドプレーン温度異常	保守サービス会社に連絡
SWMn Temp Alm xx	スイッチモジュールn(n=1-6)温度異常	該当するスイッチモジュール交換
FANn Curr Alm xx	FANユニットn(n=1-5)電流異常	該当するFANユニット交換
PSUn AC lost Alm	電源ユニットn(n=1-4) AC入力未検出	1. ACケーブル確認 2. 該当する電源ユニット交換
PSUn Fail Alm	電源ユニットn(n=1-4) 故障	該当する電源ユニット交換
PSUn Predict Alm	電源ユニットn(n=1-4) 異常	該当する電源ユニット交換
FANn(F) RPM Alm	FANユニットn(n=1-5)回転数異常	該当するFANユニット交換
FANn(R) RPM Alm	FANユニットn(n=1-5)回転数異常	該当するFANユニット交換
PWR RdnLost Alm	電源ユニット非冗長稼働中	1. 障害電源ユニットの交換 2. 電源ユニットの追加
PWR RdnDgrd Alm	電源ユニット縮退中	障害電源ユニットの交換
PWR Insuff Alm	電源容量不足	電源ユニットの追加
FAN RdnLost Alm	FANユニット非冗長稼働中	1. 障害FANユニットの交換 2. FANユニットの追加
FAN RdnDgrd Alm	FANユニット縮退中	障害FANユニットの交換
FAN insuff Alm	FAN台数不足	FANユニットの追加
EM RdnLost Alm	EMカード非冗長運転中	1. 障害EMカードの交換 2. EMカードの追加
SWMn IFmiss Alm	スイッチモジュールn(n=1-6) インタフェースミスマッチ	1. 該当するスイッチモジュールとCPUブレードとの接続関係を確認し、インタフェースを一致させる。 2. 該当するスイッチモジュールあるいは、CPUブレード交換

障害時の情報採取

障害発生時の障害情報採取について以下に説明します。

概 要

EMカードに障害が発生した際に障害原因を調査するため、以下で説明する方法にて障害情報(ログ情報)を採取して頂く場合があります。

Webコンソールから行う方法

1. EMのWebコンソールにログインする。
ユーザアカウントは、“admin”です。
2. メニューバーの「ログ管理」をクリックし、EMカードのログを取得するための画面に移行する。
3. 「実行」ボタンをクリックする。
4. ログファイルを保存する場所を指定するためのダイアログが表示されるので、保存場所とファイル名を決定する。
5. 保存場所とファイル名を確定すると、ログ採取処理が実行されます。
指定の場所／ファイル名での保存が終了しましたら、ログ採取は完了です。



デフォルトで表示されるファイル名は、“collectem-XXX_XXX_XXX_XXX-YYMMDD-HHMMSS.tgz”となります。

XXX_XXX_XXX_XXX ログ採取対象EMのIPアドレス
YYMMDD-HHMMSS ログファイル作成日時

SIGMABLADEモニターから行う方法

1. USBメモリをブレード収納ユニット前面のUSB接続ポートに挿入する。
2. SIGMABLADEモニターのメインメニューで、「1:KVM/DVD Sel」を選択する。
3. KVM/DVDの選択画面となるので、DVDの選択で“E”を選択し、[Enter] ボタンを押下する。
4. SIGMABLADEモニターのメインメニューに戻りますので、次に「6:Collect LOG」を選択してください。
5. ログ採取サブメニューが表示されますので、「1:EM」を選択してください。EMログの採取が開始されます。

6. EMログ採取実行中は、“Collecting LOG”と表示されます。
EMログ採取が終了すると結果が表示されます。
“OK”と表示されましたら、ログ採取完了です。



EMログファイルは、USBメモリの先頭ディレクトリ(先頭フォルダ)に書き込まれます。
ファイル名は、“collectem-XXX_XXX_XXX_XXX-YYMMDD-HHMMSS.tgz”となります。

XXX_XXX_XXX_XXX ログ採取対象EM(アクティブEM)のIPアドレス
YYMMDD-HHMMSS ログファイル作成日時

コマンドラインから行う方法

1. コマンドラインコンソールにログインする。
ユーザアカウントは、“admin”です。
2. /sbin/collect コマンドを実行する。
3. /logcollect/collect.tgz が作成されたことを確認する。
ログアウトします。
4. ftp でログインして、/logcollect/collect.tgz をダウンロードする。
ユーザアカウントは、“admin”です。

ESMPRO/ServerManagerから実行する方法

1. ESMPRO/ServerManagerを起動する。
2. オペレーションウィンドウで、EMカードのツリー上で右クリックし、プルダウンメニューの「EMカードログ採取」を選択する。
3. 「フォルダの参照」ダイアログが表示されるので、ログファイルを保存するフォルダを指定する。
DOSプロンプト画面が表示され、EMログ採取コマンドが自動的に実行されますので、しばらくお待ちください。
4. 指定したフォルダにログファイルが作成されたことを確認する。



SIGMABLADEモニターのバックライトが点灯しない

- バックライトは出荷時設定では約1分以上SIGMABLADEモニターのボタン操作がない場合、自動でOFFします。バックライトの自動OFF時間を変更する場合は「3. コマンドラインコンソール機能の使い方」→「設定ファイル」→「SIGMABLADEモニター関連」→「CFG_EXPRESS_LCD_BACKLIGHT_OFF_TIMER」を参照して設定してください。



キーボード、マウスの動作がおかしい／動作しない

- ☐ OSDメニューを起動していませんか？
 - OSDメニュー起動中はキーボードによるサーバ操作はできません。マウスによる操作は可能です。<Esc>キーを押してOSDメニューを終了してください。
- ☐ ブレード収納ユニットのキーボード、マウスコネクタへ正しく接続されていますか？
 - 正しく接続されているか確認してください。
- ☐ CPUブレード側のキーボード、マウス設定は正しいですか？
 - CPUブレードの設定を確認してください。詳細はCPUブレードに添付されているユーザズガイドを参照してください。
- ☐ Expressサーバ用のキーボード、マウスを使用していますか？
 - 指定以外のキーボード、マウスでは正しく動作しません。Expressサーバ用のキーボード、マウスを使用してください。
- ☐ EMカードは正しく動作していますか？
 - SIGMABLADEモニターのStatusランプを確認してください。EMカードが正しく接続されていないか正常に動作していない場合、KVMを接続することができません。
- ☐ USBを正式サポートしないOSが動いている状態でUSB機器を使用できるようにする機能(システムBIOSのLegacy USB Support機能)でキーボード・マウスを同時に操作すると、キーの入力がききにくくなるときがあります。キーの入力中はマウスを操作しないようにしてください。
 - OSをローカルインストールする時
 - ROM-DOSなどを使用する時
 - EXPRESSBUILDERを使用する時
 - システムBIOSの操作をする時



KVMを切り替えると画面がずれたり、表示できない

- ☐ 解像度の設定が間違っていないですか？
→ CPUブレード側またはディスプレイの解像度の設定を確認してください。詳細はCPUブレードまたはディスプレイに添付されているユーザーズガイドを参照してください。
- ☐ 同期がとれていますか？
→ ディスプレイの同期の設定を確認してください。詳細はディスプレイに添付されているユーザーズガイドを参照してください。
- ☐ Expressサーバ対応のディスプレイを使用していますか？
→ 指定以外のディスプレイでは正しく動作しません。Expressサーバ用のディスプレイを使用してください。
- ☐ 操作したいCPUブレードにKVM接続が設定されていますか？
→ SIGMABLADEモニター、または、OSDメニューでKVMの選択状態が正しいか確認してください。
- ☐ KVM接続されたCPUブレードの電源は入っていますか？
→ CPUブレードの電源をONにしてください。



ホットキーを押下してもOSDメニューモード、簡易モードが起動できない

- ☐ ホットキーが無効になっていませんか？
→ OSDメニューモードが起動できない場合はSIGMABLADEモニターのOSDセットアップ機能でホットキーの設定を有効にしてください。
- ☐ キーボードはブレード収納ユニットのキーボードコネクタへ正しく接続されていますか？
→ 正しく接続されているか確認してください。



OSD簡易モードでKVMの切り替えができない

- ☐ キー入力は正しいですか？
→ <1>～<8>キーを押して切り替えてください。
→ テンキーから入力する場合は、Num LockをONにして<1>～<8>キーを押してください。



キーボードから意図した文字を入力できない

- ☐ キーボードの設定(日本語キーボード、英語キーボード)が間違っていないですか？
→ OSDメニューモード、または、SIGMABLADEモニターのOSDセットアップメニューでキーボードタイプを正しく設定してください。